



北方領土

令和5年3月(第15号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

令和4年度総会及び講演会【令和4年7月21日】

新型コロナウイルスの影響により、3年ぶりに福島市の杉妻会館で総会を開催し、令和3年度の事業報告及び収支決算、令和4年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、元北方領土問題対策協会推進委員の工藤信行氏が決議文を読み上げ、政府に対し、平和条約の早期締結に向けて更なる外交努力を尽くすよう求めると共に、県民会議として、引き続き粘り強く北方領土返還要求運動を展開していくことを満場一致で採択しました。

また、総会に引き続き、元NHK解説委員の山内聡彦氏をお招きし、「ウクライナ侵攻と日ロ関係への影響」と題し、講演会を実施しました。講演では、ロシアのウクライナ侵攻に伴う日ロ関係の悪化により、当面、領土交渉の進展は見込めないとの厳しい見解が示されましたが、返還運動の原点に帰ることや、このような状況においてもロシアの住民と交流を持つことの重要性についてのお話がありました。

参加者からは「ソ連時代からこれまでの交渉の経緯や、今後の日ロ関係、領土交渉の見通しについて理解が深まった。」等の感想が寄せられました。

会場内には「令和3年度北方領土オンラインスクール」に参加された猪苗代町立猪苗代中学校の生徒のみなさんが作成した壁新聞を掲示し、参加者が興味深く見入っていました。



小林会長あいさつ



猪苗代中学校の生徒が作成した壁新聞

北方領土返還要求北海道・東北国民大会【令和4年8月26日】

本大会は、北方領土問題の具体的な進展が図られることを期待するとともに、関係機関・団体が連携し、政府の外交交渉を強力に支援していき、確固とした意思のもとに返還要求運動を粘り強く推進し、国民世論の結集を図るものです。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながら2年ぶりに札幌市内で有観客開催され、本県民会議からは2名が出席しました。

大会宣言では、ロシアによるウクライナ侵攻について触れ、「北方領土の展望を見通すことは難しい状況にあるが、今後とも北方四島の一括返還の実現を目指し、政府の外交交渉を後押ししていくとともに、新たな決意のもとに粘り強く北方領土返還要求運動に取り組み、更なる世論の喚起を図る。」とのあいさつがありました。



大会長(北海道知事)あいさつ



客席の様子

令和4年度北方領土オンラインゼミナール【令和4年9月14日、15日】

本事業は、大学生及び大学院生をオンラインで繋ぎ、元島民の体験談の聴講や学識者を交えて北方領土問題に関するディスカッションを通じて、元島民の思いや北方領土問題を正しく理解してもらい意識を高めることにより、返還運動の後継者を育成することを目的に実施され、全国から27名の参加がありました。

本県からは、福島大学人間発達文化学類及び食農学類の大学生4名が参加し、「自分達にできる『北方領土返還要求運動』は何か」をテーマにディスカッションを行いました。



令和4年度北方領土青少年交流のつどい【令和4年11月8日】

本事業は、北海道・東北の各道県の中学生が集まり、北方領土問題の早期解決のため、次代を担う青少年が北方領土問題に関する正しい知識を身につけることを目的とするもので、毎年持ち回りで開催しています。今年度は岩手県民会議が主管となり、新型コロナウイルスの影響を考慮し、昨年度に引き続きオンラインで行われました。

本県からは、須賀川市立西袋中学校の生徒2名及び教員1名が参加し、元島民語り部(色丹島出身 得能 宏氏)の講話を通して、各道県から参加した生徒と意見交換を行い、北方領土問題に関する知識を深めました。

令和4年度北方領土に関する標語・キャッチコピー

(独)北方領土問題対策協会では、北方領土について広く国民に認識してもらい、北方領土返還要求の世論を喚起するため、昭和44年度から毎年標語・キャッチコピーを募集しています。

今年度の募集では 13,085 作品(前年度 12,672 作品)の応募があり、選考の結果、以下のとおり入選作品が決定しました。

最優秀賞 「四島(しま)還せ! 声出し合って 動く今」 橋本 よしみ(大阪府)

優秀賞 「返還が 未来と繋ぐ 道となる」 波田 栞(青森県)

「後世へ 返った四島(しま)を 残したい」 佐藤 清(山形県)

「返還へ 強い気持ちを 絶やさずに」 野村 隼人(愛知県)

「返還へ 出来ることから はじめよう」 上井 祐希(大阪府)

北方領土返還要求中央アピール行動【令和4年12月1日】

北方領土問題に対する国民世論の喚起高揚を図ることを目的に、3年ぶりに都内でアピール行動が実施されました。師走の肌寒い天気ではありましたが、全国各地から約100団体、総勢500名を超える参加があり、日比谷公園野外音楽堂を出発し、国民の総意の証である全国47都道府県旗を掲げながら、「北方領土を返せ!」とシュプレヒコールを行い、熱意あふれる行進をしました。本県民会議からは2名が参加しました。



福島県旗を掲げながら行進する増子事務局長



北方領土返還要求中央アピール 横断幕

令和5年北方領土返還要求全国大会【令和5年2月7日】

本大会は、官民の関係者が一堂に会し、北方領土返還要求運動が一層幅広く発展することを願うとともに、北方領土の早期返還を求める固い決意を内外に表明するものとして、昭和56年以来、毎年2月7日の「北方領土の日」に東京都で開催されています。国立劇場で3年ぶりに有観客で開催された本大会には、本県から2名（県関係者1名、県民会議1名）が参加しました。



岸田総理大臣あいさつ



元島民の訴え

北方領土パネル展【令和5年2月】

2月の「北方領土返還運動全国強調月間」に合わせて、福島県庁（2月8日～10日）、コラッセふくしま（2月13日～14日）において「北方領土パネル展」を開催しました。コラッセふくしまでのパネル展の開催は3年ぶりで、小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの方が足を運んでくださいました。今回は北方領土イメージキャラクターのエリカちゃんに代わり初めてエリオくんがパネル展のPRに訪れ、来場者の人気を集めていました。



北方領土エリオくん



来場くださったみなさん

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16（福島県総務部県民広聴室内）

TEL：024-521-7013

FAX：024-521-7934

Mail：koucho@pref.fukushima.lg.jp



北方領土イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」